

パッションフルーツの収量を向上させるつり上げ仕立て法

つり上げ仕立て(垂直)の収量は、つり下げ仕立ての約1.5倍で、仰角75° に結果枝をつり上げるとS~M階級の果実割合が向上

背景・目的

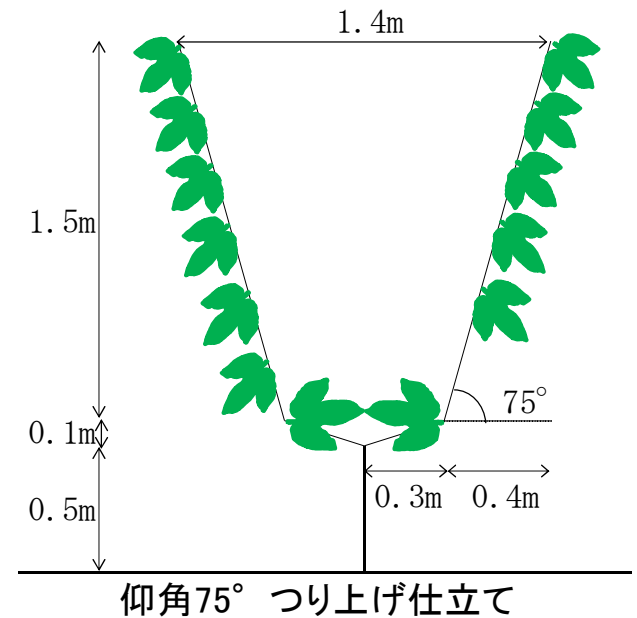
- ・果樹の新規就農者を中心に、パッションフルーツの栽培が増加
- ・生産量増加のために単収の向上技術が必要

成果の内容

パッションフルーツの収量, 階級構成

- ・つり上げ仕立て(垂直)の収量は、従来のつり下げ仕立ての約1.5倍
- ・仰角75° に結果枝をつり上げると、S~M階級の果実割合が高い

仕立て法	収量 (kg/10a)	S~M階級の果実割合	備考
つり上げ(垂直)	3,891	33.9%	令和元年度, 4列植え
つり下げ	2,642	60.9%	
結果枝の誘引角度	収量 (kg/10a)	S~M階級の果実割合	備考
垂直	2,699	46.5 %	令和3年度, 3列植え
仰角75°	2,819	58.8 %	
仰角70°	2,841	50.6 %	



期待される効果

○単収の大幅な向上による生産量の増加



所得向上, 新規就農者の参入促進

○普及対象・範囲 奄美地域を除く、パッションフルーツ生産者

鹿児島県農業開発総合センター
果樹・花き部特産果樹研究室